

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	まちづくり学	
科目基礎情報							
科目番号		0042		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		総合システム工学専攻		対象学年		専1	
開設期		後期		週時間数		2	
教科書/教材							
担当教員		尾上 亮介					
到達目標							
1 まちづくりの概要を理解する。 2 景観計画を理解する。 3 街路計画を理解する。 4 公園緑地計画を理解する。 5 地域の現実の問題を踏まえ、その課題を明確化し、解決することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		正確に景観計画を理解することが出来る。		適切に景観計画を理解することが出来る。		正確に景観計画を理解することが出来ない。	
評価項目2		正確にまちづくりの概要を理解することが出来る。		適切にまちづくりの概要を理解することが出来る。		正確にまちづくりの概要を理解することが出来ない。	
評価項目3		正確に街路計画を理解することが出来る。		適切に街路計画を理解することが出来る。		正確に街路計画を理解することが出来ない。	
評価項目4		正確に公園緑地計画を理解することが出来る。		適切に公園緑地計画を理解することが出来る。		正確に公園緑地計画を理解することが出来ない。	
評価項目5		正確に地域の現実の問題を踏まえ、その課題を明確化し、解決することができる。		適切に地域の現実の問題を踏まえ、その課題を明確化し、解決することができる。		正確に地域の現実の問題を踏まえ、その課題を明確化し、解決することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (C)							
教育方法等							
概要		この科目では、企業で建築設計を担当していた教員がその経験を生かし、経済・社会・空間を総合的に計画するまちづくりの概要を学ぶ。事例等により理解を深め、まちづくり計画について学ぶ。 【授業目的】 目的は経済・社会・空間を総合的に計画するまちづくりの概要を知り事例等により理解を深め、まちづくり計画の策定ができることです。地域に関する学修を通じて地域の歴史・文化を理解する。 【Course Objectives】 The course objectives is to know the outline of Town Planning that plans economy, society and space overall, and to understand by the cases, and to be able to set the plan.					
授業の進め方・方法		【授業方法】 1.授業は講義と演習形式で行う。 2.地域の自治体等の技術者の問題提起に対して、地元企業、自治体が必要としている技術者像を理解させる。 3.演習及び事例研究の成果をプレゼンテーションする。 【学習方法】 1.新聞やテレビなどで時事情報を収集する。 2.自身が生活するまちの基本情報を収集する。 3.様々なまちを歩き、気づいたことをメモする。 毎回の授業の前後には、予習・復習として4時間程度の自己学習を行うこと。また、この自己学習時間には、授業中に与えられた演習問題等のレポート課題に取り組み、まちづくりの理解を深めること。なお、課題のレポートは次回の授業時に提出を求める。					
注意点		【定期試験の実施方法】 定期試験と授業内でのレポートの総合評価で行う。 【成績の評価方法・評価基準】 評価方法は定期試験（70%）、レポート（30%）。到達目標である、まちづくり、景観計画、街路計画、公園緑地計画の理解度について到達度を評価基準とする。 【履修上の注意】 本科目は、授業での学習と授業外での自己学習で成り立つものである。 【学生へのメッセージ】 まちづくり学は、自身が暮らす国、地域、まちを知ることから始まります。普段皆さんが行っている生活動そのものが地域計画に関わっています。人、まちを計画者として観察しましょう。 【教員の連絡先】 研究室 A-306 内線電話 8963 e-mail: onoe@maizuru-ct.ac.jp（アットマークは@に変えること）					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	まちづくりの概要		1 まちづくりの概要を理解する。		
		2週	まちづくり、事例研究		1 まちづくりの概要を理解する。		
		3週	歴史的遺産の保存とまちづくり		2 景観計画を理解する。		
		4週	景観とまちづくり1		2 景観計画を理解する。		

		5週	景観とまちづくり2	2	景観計画を理解する。
		6週	景観とまちづくり3	2	景観計画を理解する。
		7週	景観とまちづくり4	2	景観計画を理解する。
		8週	街路計画1	3	街路計画を理解する。
	4thQ	9週	街路計画2	3	街路計画を理解する。
		10週	公園緑地計画1	4	公園緑地計画を理解する。
		11週	公園緑地計画2	4	公園緑地計画を理解する。
		12週	地域の課題である中心市街地活性化に関して計画作成1	5	地域の現実の問題を踏まえ、その課題を明確化し、解決することができる。
		13週	地域の課題である中心市街地活性化に関して計画作成2	5	地域の現実の問題を踏まえ、その課題を明確化し、解決することができる。
		14週	地域の課題である中心市街地活性化に関して計画作成3	5	地域の現実の問題を踏まえ、その課題を明確化し、解決することができる。
		15週	地域の課題である中心市街地活性化に関して計画作成3	5	地域の現実の問題を踏まえ、その課題を明確化し、解決することができる。
		16週	(15週目の後に期末試験を実施) 期末試験返却・達成度確認		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	30	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0